

【様式 1】

| | |
|--|-------------------------------------|
| 調査年度 | 平成 2 4 年度 |
| 調査タイトル | コミュニティファンドの認定制度及びその他の施策に関する 検討調査 |
| <p>1 調査の目的と背景</p> <p>わが国では従来より N P O 団体や各種の活動等に対して、様々な資金支援が行われているものの、活動資金の不足により継続的な活動が困難である等の課題もあり、資金的支援をしたいと考えている者と活動資金を必要とする活動団体との間にはミスマッチが生じていると想定されることから、市民の地域づくり活動団体等への寄付や出資の実態や課題とともに、支援組織や仕組みの認知度向上等を目的とした「地域づくり活動支援ファンド（仮称）」の認証制度に関する意見について把握を行うことを目的として、アンケート調査を実施した。</p> <p>2 調査方法、体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20 歳以上の一般国民を対象に、ウェブアンケート調査から傾向等を分析 ・ 過年度調査の報告書の整理 ・ 関係団体へのヒアリング調査 <p>3 結果概要</p> <p>寄付や出資に対する関心はあるものの、全体では過去 3 年間の実施者は全体の 3 分の 1 にとどまっており、団体の存在や活動、組織形態等の情報不足による面が大きい。</p> <p>寄付と出資では、寄付の経験者の方が多い。また、寄付経験者・未経験者ともに半数ほどは出資についても良いと思うとしており、今後の資金的支援の方法として寄付と併せて位置づける必要があると考えられる。</p> <p>寄付や出資を仲介するような組織や仕組みの必要性についての意見は分かれており、支援先が具体的で、資金を一円でも多く支援先に届けたいという考えの人は、仲介的な組織について否定的である。一方で、出融資の経験のない人は、経験者に比べると若干ではあるが、支援先の判断材料を求めて仲介的な組織の必要性を感じている。</p> <p>「ファンド」という「言葉」そのものに対する抵抗感が強く、日本語でわかりやすく、というニーズも大きい。金融商品としてのファンドとの混乱や意味がわかりづらいとの意見もあるため、名称及びその説明は丁寧に行う必要がある。いずれにせよ、市民からの資金支援の入口としての認証の仕組みについては、一定のニーズはあると思われる。</p> | |
| 参考 URL 等 | |